

曹洞宗 (そうとうしゅう)

鏡徳寺報 第9号 (R1.12.31発行)

住所 茨城県日立市弁天町3-3-33

電話 (0294) 21-2049

FAX (0294) 21-2092



江里康慧 (えりこうけい) 大仏師。京都平安仏所にて

初春のお慶びを申しあげます



あけましておめでとうございます。
皆さまのご健康とご多幸を、心からお祈りいたします。
本年もよろしくおねがいたします。



今年も元日から三日まで、特別に観音堂の御開帳をいたします。
新年のお誓い、お願い事に、どうぞご家族皆さままでお参りください。

台座納経 いよいよ受付開始 一月十日より

釈迦牟尼佛尊像勸請事業に伴い、檀信徒の皆さま、ご縁者の皆さまから
もこの類まれな機会に仏縁をつないでいただくべく、台座納経を受付いた
します。特別納経お申し込みの方のお名前は冊子に記名して台座に
納めます。

特別納経は一口金三十万円。

一般納経は一口金三万円。

受付期間は、

令和二年一月十日から三月末日まで。

ご不明な点があればお寺までお問い合わせ
させていただきます。

尚、仏像の完成は令和二年九月末。完
成後、各地の展覧会で展示され、鏡徳寺
へ安置されるのは令和三年三月末の予
定。安置され、開眼法要の後に台座納経
申し込み者には記念品が授与されます。
詳細は、別紙をご覧ください。



経年劣化の少ない柿渋染の表紙です

観音堂修繕

前号でご案内しました観音堂の雨漏り修繕が、無事終了し、観音さまもお堂に戻られました。堂中の仏具、お厨子も雨漏りと経年劣化の為、漆や金箔が剥がれるなど傷みが激しかったので、この機会に修繕いたしました。新年の三が日のみ、特別に御開帳しておりますので、どうぞご参拝ください。

なご修繕工事中に、屋根裏から先々代の秀明大和尚が昭和四十三年に観音堂を再建した時の上棟札が出てまいりましたので、ご紹介します(写真)。



十月二十日、鏡徳寺本堂にて第四回落語会が開催されました。六代目古今亭志ん橋師匠とそのお弟子の志ん松さん、紙きりの林家楽一さんが芸を披露してくださいました。今年も、秋の穏やかな

一日、楽しいひと時となりました。落語の演目は次のとおりです。

古今亭志ん松 『熊の皮』
古今亭志ん橋 『出来心』
『宗眠の滝』



また、毎月第二日曜日(二月、八月のぞく)には、十四時より拈華堂にて、坐禅会を開催しています。初めての方も丁寧に指導します。お申し込みは不要です。お気軽にどうぞ。

宝曆をお届けしました

今号の寺報と共に、檀信徒の皆さまには、

令和二年の宝曆をお届けしています。年忌をご確認ください。年回法要は、故人に代わって善根功德を積み、冥福を祈る大切なご修行です。怠らないようにしたいものです。

おねがい

※お墓参りの際は、ごみの分別にご協力いただきますようお願いいたします。マナーを守り、誰にとっても気持ちの良いお参りにしましょう。

※年末までには仏壇、仏間、お墓をお掃除して清め、新年を清らか気持ちで迎えましょう。お正月は、家族そろってお墓参り、お寺参りをしましょう。

鏡徳寺一向一答 おしえてお寺さん!

Q. 台座納経(だいざのうきよう)とは何ですか?

A. 新たに仏像をお迎える時、その胎内や台座内へお経文と共に祈願者のお名前、故人のお戒名などを記したお納経帳または巻物を納めることです。

台座納経は、現世の安穏や来世の幸福を祈り、また死者の追善供養のために文字通り仏像の胎内や台座に納経帳、巻物を納めます。新たに像をお迎える時にのみ叶う、数百年に一度あるかないかの実に得がたい類まれな祈願、供養の機会です。

この度、鏡徳寺でお迎える釈迦三尊像は、本堂正面に安置し、お寺の続くかぎり永くお祀りされるご本尊となる仏様です。仏像彫刻では大変高名な江里康慧大仏師の作で、仏像頭部内にはお釈迦さまのお仏舍利(おぶっしやり) お骨のことが封入されます。将来、納経帳も含め国の文化財になることも予想されます。後世に残る大事業でもあります。このご縁を大事にしたいものです。